

全国の皆さまからの温かい応援とご支援 ありがとうございます。

Our deep thanks to everyone who has provided support and assistance, from all over the world.

令和6年1月1日の能登半島地震。令和6年9月の奥能登豪雨。

能登は1年に2度の激甚災害に見舞われました。どうして能登ばかり…。

そんな中、全国の皆さまからの温かい応援とご支援が、

復旧・復興をめざし歩む被災された方々を勇気づけ、大きな支えになっています。

能登のために、ありがとうございます。

そして、これからもさまざまなかたちで応援をおねがいします。

#能登のために

石川県



能登半島地震・奥能登豪雨の 風化防止に向けた動画を公開中

地震・豪雨の記憶を未来につなぐため、そして能登応援の輪を広げるため、能登で困難を乗り越えて生きる人々に焦点を当てた動画を発信しています。

石川県公式ウェブサイト
「能登の一步、未来への一步」

<https://notonotameni-ishikawa.jp/>



震災の記憶・復興の記録

被害状況、復興へのあゆみ、被災箇所の 3Dモデル、被災者等の証言を公開中

災害対策や防災教育など、将来の災害への備えに役立てるため、地震・豪雨の被害状況や復旧・復興の過程で得た教訓・ノウハウが記された資料を収集し、デジタルアーカイブで公開しています。

石川県公式ウェブサイト
「令和6年能登半島地震アーカイブ
震災の記憶 復興の記録」

<https://noto-archive.pref.ishikawa.lg.jp/>



シンポジウムの様子は、後日アーカイブにて配信します。

本日のシンポジウムの様子は、石川県公式YouTubeチャンネルで後日公開します。会場でしか伝えられなかった声を、全国にお届けします

石川県公式YouTubeチャンネルで
アーカイブ配信

<https://www.youtube.com/channel/UCH8nNfcRRKJV76TCT6S0qmg>



#能登のために

石川県

能登の「今」を知り、「明日」を支える。



令和6年能登半島地震・奥能登豪雨
復興祈念シンポジウム

いま伝えたい能登の声

とき

2025 11/22 土

●開場／12:30～
●開演／13:30～
(16:00終了予定)

ところ

丸ビルホール&ホワイエ
東京都千代田区丸の内2丁目4-1・丸ビル 7F

主催／石川県

トークイベントゲスト
ひろゆき
(西村博之)



写真提供：石川県観光連盟



能登が示す、 ふるさとの未来

能登半島地震と奥能登豪雨により甚大な被害を受けた能登では、単に元の姿に戻すのではなく、未来志向に立ってより良い地域づくりを実現する「創造的復興」に向けた歩みが、今まさに動き出しています。

本シンポジウムでは、これまでにお寄せいただいたご支援に感謝を伝えるとともに、能登半島地震から2年近く、奥能登豪雨から1年が経過した被災地の復興の現状を発信します。さらに、様々な立場から能登の復興に関わるゲストを交え、能登が示すふるさとの未来について考えます。能登の創造的復興は、人口減少や高齢化に直面する日本の各地にとって未来へのヒントになります。

PROGRAM

司会

TBSアナウンサー 喜入 友浩
MROアナウンサー 石川 映夏

第1部

13:30～ ●開会、オープニング映像

13:35～ ●主催者挨拶 石川県知事 馳 浩
●来賓挨拶 内閣府特命担当大臣(防災) あかま 二郎

13:45～ ●基調報告 石川県知事 馳浩

13:55～ ●能登の高校生によるスピーチ
石川県立飯田高等学校
「私が経験した能登半島地震」
石川県立能登高等学校
「能登の今とこれから」
能登の高校生が感じ、想っていることや、地域の未来について発表します。

14:05～ ●トークイベント モデレーター喜入 友浩
ひろゆき 石川県知事 馳浩

第2部

14:50～ ●パネルディスカッション
ファシリテーター喜入 友浩

輪島市長 坂口 茂	總持寺通り協同組合 コミュニティマネージャー 宮下 杏里
株式会社御祓川 代表取締役 森山 奈美	株式会社雨風太陽 代表取締役社長 高橋 博之
一般社団法人シェアリングエコノミー協会 代表理事 石山アンジュ	ひろゆき (西村 博之)

16:00 ●閉会

13:55～ 能登の高校生によるスピーチ

能登の高校生が感じ、想っていることや、地域の未来について発表します。

14:05～ トークイベント

ひろゆき (西村 博之) × 石川県知事 馳 浩

ひろゆき(西村博之)と馳知事が登壇。今の能登を、どう伝え、どう支えるか。被災地の声と都市の視点が交差する対話をお届けします。



TBSアナウンサー

喜入 友浩

TBSテレビアナウンサー。ニュース番組や報道ドキュメンタリーを担当し、災害報道にも多く携わる。本シンポジウムでは司会進行として、現場の声と来場者の思いをつなぐ役割を担う。

14:50～ パネルディスカッション

支える、繋がる、そして能登へ～私たちが共にできること～

県内外の様々なジャンルの専門家などが登壇し、それぞれの立場から復興の課題と可能性を掘り下げます。



輪島市長

坂口 茂

石川県輪島市町野町出身・在住。徳島大学工学部建設工学科卒業後、輪島市役所に入庁。都市整備課長、企画課長、交流政策部長、副市長を経て現職。能登空港やマリントウンの整備をはじめ、街並み・景観保全や観光振興に尽力。地域ボランティアやまちづくり活動にも積極的に関わる。



株式会社御祓川
代表取締役

森山 奈美

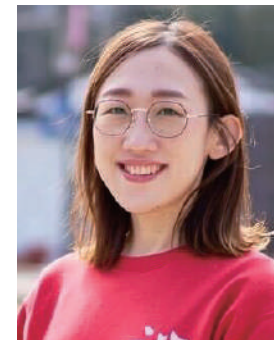
石川県七尾市出身。都市計画コンサルタントを経て、地域まちづくり会社「御祓川」設立に参画。能登スタイルや能登の人事部など、地元事業者を支える中間支援の仕組みを構築。令和6年能登半島地震後は、復興ネットワークを立ち上げ、里山里海の価値を生かした“発酵的復興”を推進している。



一般社団法人シェアリングエコノミー協会
代表理事

石山アンジュ

「共助・共有・共創」をテーマに、官民をつなぐシェアリングエコノミーの実践者。Public Meets Innovation設立、Gift家族代表。テレビや書籍などを通じて多拠点ライフを発信。能登の未来を“共創”の力で築く新しい社会像を提案している。



總持寺通り協同組合
コミュニティマネージャー

宮下 杏里

輪島市門前町出身。大学卒業後、都市部での勤務を経てUターン。少子高齢化の地域で「ごちゃまぜのまちづくり」を進める。現在は(一社)NOTOTO.理事として、被災地の声を外部支援へとつなげる活動を展開。地域コミュニティの再生に向け、ランドリーカフェの開設準備などを進めている。



株式会社雨風太陽
代表取締役社長

高橋 博之

岩手県花巻市出身。元岩手県議。NPO法人東北開墾を経て「雨風太陽」を設立、東証グロース市場にインバウトIPO。被災地支援と地方創生を軸に活動。能登半島地震復興アドバイザーボード委員として、外の力を呼び込む“創造的復興”を提唱している。



実業家

ひろゆき (西村 博之)

論理的な視点で社会問題を読み解く発信者。インターネット掲示板「2ちゃんねる」開設者。現在はYouTubeなどで国内外の時事問題をテーマに語り、多様な世代から支持を集める。本シンポジウムでは「若い世代が被災地を“自分ごと”として考えるための視点」を提起。